

富山地方鉄道鉄道線のあり方検討会 第1回立山線・不二越上滝線分科会 議事概要

1. 日時・場所

日時：令和7年6月5日（木）15：00～15：40

場所：富山市役所東館8階 大会議室

2. 出席者

所 属	役 職	氏 名	備 考
富山県	知 事	新田 八朗	
富山市	市 長	藤井 裕久	
立山町	町 長	舟橋 貴之	
富山地方鉄道(株)	代表取締役社長	中田 邦彦	

3. 議事概要

（1）不二越上滝線の検討状況について

- ・利用実態調査（OD 調査、アンケート等）を実施し、11月を目途に国の鉄道事業再構築事業の活用を視野に入れた活性化施策の素案を取りまとめる。
- ・沿線まちづくりや安全・安心の観点から、スピード感をもって取り組みたい。

（2）立山線の検討状況について

- ・観光需要への対応など様々な課題に対し、再構築事業の実現可能性を調査検討する。
- ・運営形態を工夫（完全な上下分離など）することや、行政負担を軽減できる可能性について検討する。
- ・岩嶽寺－立山間は生活路線という側面に加え、立山黒部アルペンルートへのアクセスを担う観光路線としての価値が極めて重要であり、費用対効果は富山県全体の観光・経済的な視点から考えるべきである。

（3）鉄道事業運営及び今後の進め方について

- ・鉄道事業全体で一日あたり約190万円の赤字という厳しい経営状況であり、一刻も早い方向性の決定が必要である。
- ・再構築事業を念頭に調査・検討する場合、利便性向上に係る投資を含めた全体事業費や必要な資金の調達方法にも留意する必要がある。
- ・立山線は地鉄と立山黒部貫光との連携も大切であり、次回以降の分科会への立山黒部貫光の参画を提案する。